



サード プレイス ヤタノ

Third Place YATANO

社会福祉法人共友会

矢田野町ミ30 (矢田野ファクトリー内)

☎090・2376・2224

問い合わせは
こちらから▶



サード 岡安さん

サードプレイスとはどういう意味か。
岡安 自宅や職場などとは別に存在する居心地のいい第3の場所を示す言葉です。サードプレイスヤタノ(以下、サード)では誰にとっても居心地のいい居場所を目指して活動しています。

サードの特徴は。
岡安 病気や障がいのあるなしに関係なく、誰もが利用できる場所です。仕事の場として活用してください。これまで仕事をすることがない人や働くことに不安がある人は。

岡安 サードではクリーニングや機械部品の組み立てなど複数の仕事を用意しています。まずは体験してみてもいいですね。午前中だけといった働き方も相談できますので、自分に合った働き方を一緒に考えましょう。

働きたいを応援

利用者の声

現状を変えたい…



利用者本人

小学生の頃に持病と薬の副作用で休みがちになり、周りの目がいつも気になっていました。高校は自主退学し、それを機に自宅で過ごすようになりました。

20代中盤から「外が怖い」と思い始め「生きづらさ」や「病気のことを理解してもらえないのではないかな」という不安が大きくなりました。ひきこもっている恥ずかしさや家族への申し訳なさもありましたが「自分が悪い」「根性が足りない」など余計なことを考え「自分は半端だな」と思いながらもどこに相談すればいいのかわかりませんでした。そんな中、市の広報紙でサードのことを知り、現状を変えたいと思いました。今はサードに来て気持ちを吐き出した、相談したりできてよかったです。

勇気を持って踏み出したことで



利用者の母

幼少期から病気があり、理解してあげる方法が思いつきませんでした。自己肯定感が低く真面目で繊細な息子は高校中退を機に家で過ごすことが増え、色々提案しても「何にも分かってないじゃん」と反応されることもあり。何かきっかけとなることがないか探していた時に市の広報紙でサードを見つけ、本人と一緒に面談に行きました。小さなきっかけではありますが、私たち親子にとって大きな一歩となりました。将来への不安は今もあります。障がいなどに当てはまらず情報のなさなども感じますが何事も縁と思い、勇気をもって一歩を踏み出したことで多くの人に支えられ、日常生活を送ることができています。

相談は、こちらでも受け付けています。

くらしあんしん相談センター
(基幹相談支援センター)
☎24・8162

ひきこもり、発達障がいに関することなど

発達支援センターえぶりい
☎24・8434

子供の発達、子育ての悩み

教育研究センター
☎24・8124

不登校、子供の発達、
子育ての悩み

こども家庭センター
☎24・8073

子育て、児童虐待の相談



あなたらしい生き方を応援します

50人に1人が、何らかの生きづらさを抱え、ひきこもり状態であると言われています。ひきこもりは特別な問題ではなく、誰にでも起こり得ます。「生きづらさ」を抱える人を地域でサポートしている取り組みを紹介します。

問い合わせ

くらしあんしん相談センター
☎24・8162



ハレマ

社会福祉法人なごみの郷

不動島町甲21

☎41・5757

問い合わせは
こちらから▶



ハレマ 西本さん

相談の対象は。
西本 おおむね15歳以上で社会の中で孤立していたり孤独を感じていたり様々な生きづらさを抱えている人です。「外に出られない」「人と関わることに不安がある」「将来のことが不安」など、どのような事でも構いません。本人はもちろん家族や支援者の人からの相談も受け付けています。

相談はどこでできるか。
西本 ハレマでの来所相談のほか必要に応じて自宅に訪問して話を伺うこともできます。まずは気軽に問い合わせください。

支援の入り口 ハレマ

居場所ハレマ

居場所ハレマとは。

松本 令和7年3月にひきこもりがちな人向けに開設したカフェのような場所です。活動プログラムを行う日もありますが、基本は個のペースを確保しながら静かに過ごせます。

どんな利用の仕方があるか。
松本 過ごし方に決まりはないのでゲーム、おしゃべり、内職など、どんな過ごし方ができるか一緒に探していきたいと思います。人と関わるうちに自分の中の何かが動き出すと思います。



ハレマ 松本さん